

ばしょうこんだて
芭蕉献立の はなし

※この資料に音声は
入っていません。





まつお
松尾

ばしょう
芭蕉

ばしょう
芭蕉さんは、1644年、

げんざい
現在の三重県伊賀市である

い が くに う はいじん
伊賀の国に生まれ、俳人となり

にほんじゅうたび はいく
日本中を旅して、たくさんの俳句

つく
を作りました。



まつお
松尾

ばしょう
芭蕉

ねん がつ にち な
1694年10月12日に亡くなり
ました。

い が し まいとし めいにち な
伊賀市では毎年、命日(亡くなっ

ひ がつ にち ばしょうさい
た日)の10月12日に、芭蕉祭が

おこな
行われています。

ばしょう つき あい
芭蕉さんは月をこよなく愛し、

はいく よ
たくさんの俳句を詠んでいます。



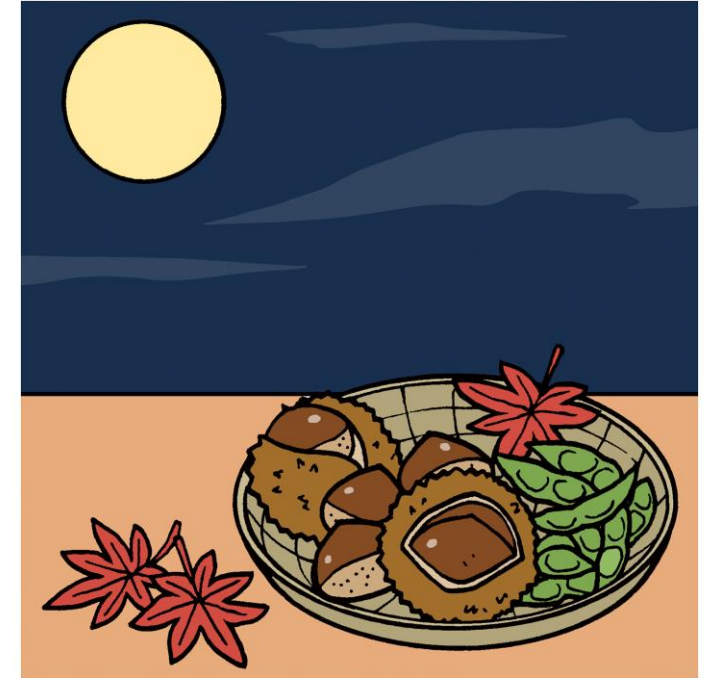
めいげつ
名月や
いけ
池をめぐりて
よ
夜もすがら

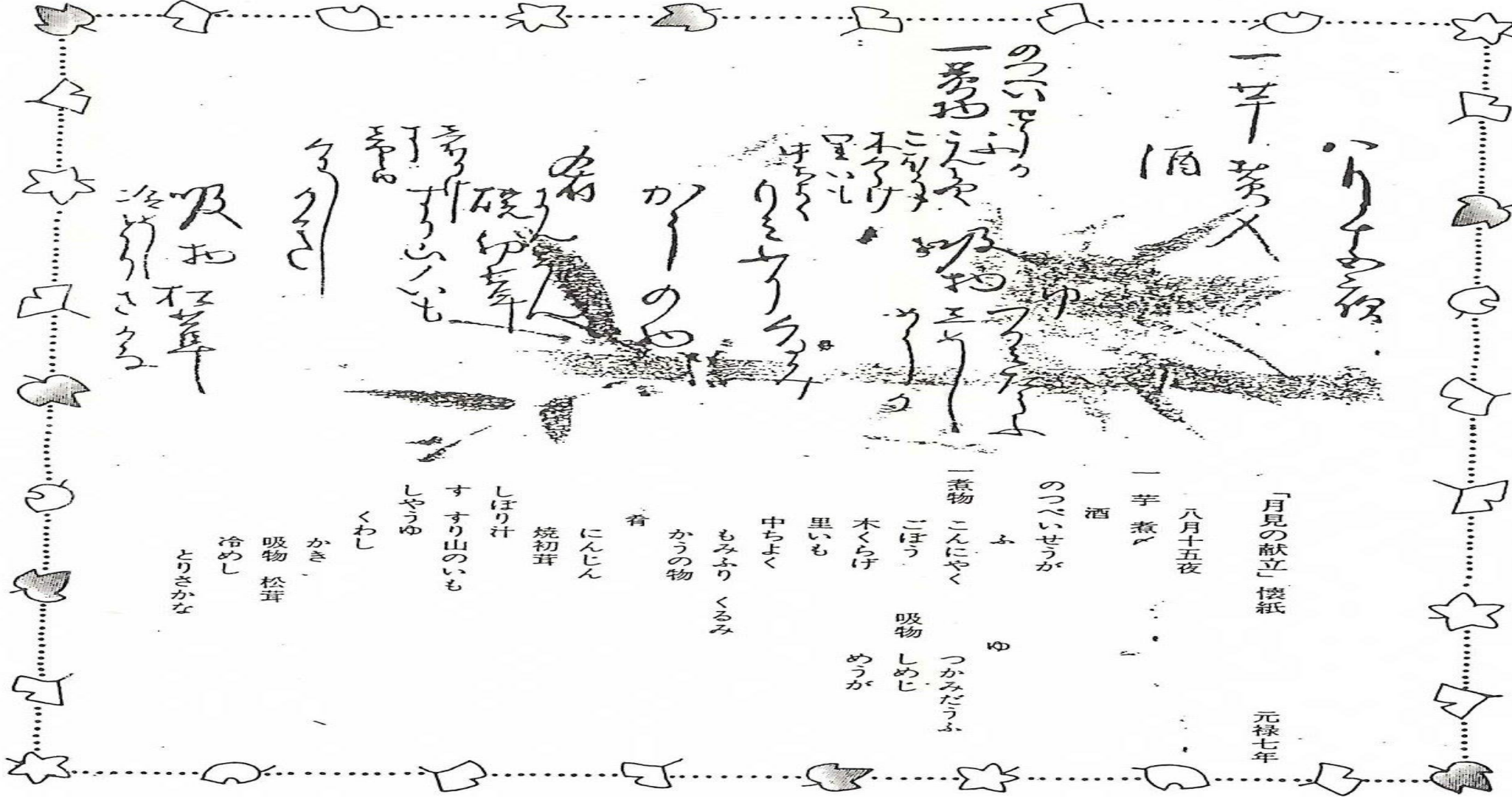
ねん げんろく ねん
1694年(元禄7年)、

ちゅうしゅう めいげつ よる ばしょう
中秋の名月の夜に芭蕉さんが

でし まね
お弟子さんたちを招いて、

つきみ うたげ ひら
「月見の宴」を開きました。





りょう り ず ばしょう みずか こんだて
**料理好きだった芭蕉さんは自ら献立を
 つくり、もてなしました。**

きょう つきみ うたげ こんだて いちぶ さいげん きゅうしょく
今日は月見の宴の献立の一部を再現した給食です。

◆くりごはん

こざかな
◆小魚のごまからめ

あおな あ
◆青菜のおかか和え

◆せうが(しょうが)入りのっぺい汁
い じる



ばしょう
芭蕉さんや、

はいく おも
俳句に思いを

めぐらせながら

あじ
味わって

いただきますしょう。